

花束に感謝の気持ちを込めて

「花の日」にちなみ、6月6日、熊本YMCA赤水保育園の園児が阿蘇市役所を訪れ、宮川副市長に自宅から摘んできた花々を贈りました。「花の日」（6月の第2日曜日）は、日頃お世話になっている人たちに感謝の気持ちを表すために花束を贈る日で、アメリカで始まった習慣とされています。

この日は、市役所のほか、熊本YMCA尾ヶ石保育園の園児が阿蘇広域行政事務組合消防本部に、熊本YMCA永草保育園の園児が家入整形外科と阿蘇警察署に花束を贈りました。



児童ら70人が参加しました。

転作田で、里芋・甘藷の苗を植えた後、国道212号沿いで、清掃活動やコスモス3000本の植え付けなどを実施し、その後、用水機場などを見学し田んぼ10aに必要な水はどれくらいか？などを学びました。11月に植えた里芋・甘藷の収穫祭を開く予定です。

農業体験・奉仕活動を通じて水や土の大切さを実感

6月3日、阿蘇土地改良区（本田二男理事長）と阿蘇ライオンズクラブ（梅井六男会長）が合同で、農業体験イベントや国道212号沿いの草刈りなど美化奉仕作業等を行いました。この取り組みは、昨年からは実施している中山間ふるさと・水と土保全対策事業の一環で、今年は地元碧水小学校の



宝くじ助成事業で跡ヶ瀬^{つつみ}堤周辺を整備

跡ヶ瀬区は、かねてから河川の草刈りや清掃などの環境美化活動に積極的に取り組んでいます。このたび、跡ヶ瀬堤周辺の緑化推進を図るため、コミュニティ助成事業の支援を受けて、ヨシノサクラ50本及びモミジ50本を植栽しました。

今後、この堤は地区住民の憩いの場として、活発的に活用していく予定です。

このコミュニティ助成事業は、宝くじの普及広報事業費を財源として、財団法人自治総合センターが助成を行うものです。

